

2023年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年5月12日

上場会社名 株式会社PEGASUS 上場取引所 東
 コード番号 6262 URL https://www.pegasus.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 美馬 成望
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員管理本部副本部長 (氏名) 金子 貴司 (TEL) 06(6451)1351
 定時株主総会開催予定日 2023年6月20日 配当支払開始予定日 2023年6月21日
 有価証券報告書提出予定日 2023年6月21日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期の連結業績(2022年4月1日~2023年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	25,288	23.4	2,657	43.9	2,946	51.8	2,294	46.0
2022年3月期	20,498	65.0	1,847	257.4	1,941	184.7	1,572	122.3
(注) 包括利益	2023年3月期 4,556百万円(23.5%)		2022年3月期 3,689百万円(639.8%)					

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年3月期	92.49	—	8.7	7.9	10.5
2022年3月期	63.37	—	6.8	6.0	9.0
(参考) 持分法投資損益	2023年3月期 一百万円	2022年3月期 一百万円			

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	39,507	29,199	71.6	1,140.65
2022年3月期	35,133	25,366	70.0	991.49
(参考) 自己資本	2023年3月期 28,300百万円	2022年3月期 24,599百万円		

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	1,859	△1,875	△1,182	9,225
2022年3月期	1,880	△432	△673	9,733

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年3月期	—	7.00	—	13.00	20.00	496	31.6	2.2
2023年3月期	—	15.00	—	12.00	27.00	669	29.2	2.5
2024年3月期(予想)	—	9.00	—	—	—	—	—	—

(注) 2024年3月期の期末配当予想については、現時点で予想困難であることから未定としております。

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,950	△33.0	310	△83.7	180	△92.7	100	△94.3	4.03
通期	21,880	△13.5	1,320	△50.3	1,100	△62.7	710	△69.1	28.62

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
 新規 一社（社名） 、 除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期	24,828,600株	2022年3月期	24,828,600株
② 期末自己株式数	2023年3月期	17,976株	2022年3月期	17,976株
③ 期中平均株式数	2023年3月期	24,810,624株	2022年3月期	24,810,624株

(参考) 個別業績の概要

1. 2023年3月期の個別業績（2022年4月1日～2023年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	11,851	25.7	1,554	191.8	2,132	106.7	1,771	79.3
2022年3月期	9,431	89.2	532	—	1,031	—	988	—
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2023年3月期	71.40		—					
2022年3月期	39.83		—					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%			円 銭	
2023年3月期	21,772	70.7	15,392	66.6			620.41	
2022年3月期	21,484	66.6	14,314				576.95	

(参考) 自己資本 2023年3月期 15,392百万円 2022年3月期 14,314百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

当社は、2023年5月29日（月）に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会をオンラインで開催する予定です。なお、当日使用する決算説明資料につきましては、2023年5月25日（木）に当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(会計方針の変更)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における世界経済は、新型コロナウイルス感染症における行動制限の緩和に伴い、経済活動の正常化が進んだ一方、サプライチェーンにおけるモノ不足は依然として続いておりました。

このような状況のなか、ロシア・ウクライナ情勢の長期化による物資及びエネルギー不足により、急激なインフレの進行が見られました。また、欧米諸国の金融政策による企業活動や個人消費への影響など、先行きは極めて不透明な状況が続いております。

当社企業グループの主力事業である工業用マシン事業におきましては、世界的なインフレの進行により旺盛であったアパレル需要は年後半から縮小が見られ、縫製産業の設備投資に対し慎重となる企業も出てまいりました。オートモーティブ事業（前ダイカスト部品事業）におきましては、原材料価格の高騰ならびに半導体不足による自動車産業減産の影響を受けたものの、新規顧客の獲得や既存顧客からの受注増加等により、業績は順調に推移いたしました。

このような環境のもと、当連結会計年度の売上高は252億88百万円（前年同期比23.4%増）、営業利益は26億57百万円（前年同期比43.9%増）、経常利益は29億46百万円（前年同期比51.8%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は22億94百万円（前年同期比46.0%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります

なお、2022年4月1日付で報告セグメントの名称を「ダイカスト部品事業」から「オートモーティブ事業」へ変更しております。

（工業用マシン事業）

工業用マシン事業につきましては、縫製産業の設備投資需要にばらつきがあったものの、為替相場の円安効果もあり、売上高は189億22百万円（前年同期比14.8%増）、セグメント利益は32億68百万円（前年同期比20.0%増）となりました。

（オートモーティブ事業）

オートモーティブ事業につきましては、新規顧客の獲得及び納期・品質を主とした顧客ニーズに応えることで収益力の強化を図り、売上高は63億66百万円（前年同期比58.5%増）、セグメント利益は5億58百万円（前年同期比219.7%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

（資産）

流動資産は、前連結会計年度末に比べて11.4%増加し、283億72百万円となりました。これは、主として商品及び製品が23億48百万円、受取手形及び売掛金が4億65百万円それぞれ増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて15.3%増加し、111億35百万円となりました。これは、主として有形固定資産が18億96百万円増加し、無形固定資産が4億91百万円減少したことなどによります。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べて12.5%増加し、395億7百万円となりました。

（負債）

流動負債は、前連結会計年度末に比べて17.4%増加し、78億63百万円となりました。これは、主として支払手形及び買掛金が4億35百万円、短期借入金が3億98百万円、未払法人税等が2億91百万円それぞれ増加したことなどによります。固定負債は、前連結会計年度末に比べて20.3%減少し、24億44百万円となりました。これは、主として長期借入金が3億85百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて5.5%増加し103億7百万円となりました。

（純資産）

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて15.1%増加し、291億99百万円となりました。これは、主として為替換算調整勘定が21億28百万円増加し、親会社株主に帰属する当期純利益が22億94百万円となったことなどによります。

自己資本比率は前連結会計年度末の70.0%から71.6%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ5億7百万円減少し、当連結会計年度末には92億25百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、18億59百万円（前連結会計年度比1.2%減）となりました。これは主として税金等調整前当期純利益29億52百万円、売上債権の減少額3億45百万円、減価償却費9億66百万円に対し、仕入債務の減少額2億89百万円、法人税等の支払額7億16百万円、棚卸資産の増加額16億21百万円などによります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出した資金は、18億75百万円（前連結会計年度比334.0%増）となりました。これは主として有形固定資産の取得による支出16億26百万円、定期預金の預入及び払戻による収支の減少2億70百万円などによります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果支出した資金は、11億82百万円（前連結会計年度比75.5%増）となりました。これは主として配当金の支払額6億94百万円、長期借入金の返済による支出3億74百万円などによります。

（参考） キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
自己資本比率(%)	74.8	70.9	71.6	70.0	71.6
時価ベースの自己資本比率(%)	50.2	29.5	38.1	42.0	39.8
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(倍)	1.8	8.2	2.2	2.9	2.9
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	32.4	8.7	34.7	25.3	14.8

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

※ 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値より算出しております。

※ 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。

※ 営業キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いにつきましては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(4) 今後の見通し

2024年3月期連結会計年度における世界経済は、部品・資材・エネルギーの不足及び高騰、欧米諸国の金融政策及び米国銀行の経営破綻、ならびにロシア・ウクライナ情勢の長期化など、不安定な状況が継続すると予測しております。

このような事業環境ではありますが、当社企業グループとしては、新規受注獲得に向けた販売強化ならびに市況好転のタイミングを逃さぬべく、生産供給能力の強化に注力してまいります。

工業用マシン事業におきましては、未参入市場への顧客開拓による販売増強ならびにサプライチェーンの分断等、不測事態へのリスクヘッジとしてベトナムハイズン省に新規工場の建設を進めております。

オートモーティブ事業におきましては、2021年に設立した中国南通市の子会社での生産を開始し、その他子会社も受注増加に備えた設備投資計画のもと、販売増強に注力してまいります。

以上を踏まえ、2024年3月期の連結業績見通しは、連結売上高218億80百万円、営業利益13億20百万円、経常利益11億円、親会社株主に帰属する当期純利益7億10百万円を見込んでおります。

なお、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

※上記見通しは、次のレートを前提としております。(米ドル：130円)

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社企業グループは、日本基準に基づき連結財務諸表を作成しております。なお、将来における I F R S (国際財務報告基準) の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮のうえ、適切に対応してまいります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,773,167	9,530,205
受取手形及び売掛金	5,676,044	6,141,082
商品及び製品	4,675,908	7,024,645
仕掛品	1,063,678	1,105,842
原材料及び貯蔵品	3,787,567	4,019,530
未収入金	92,441	76,740
その他	439,031	602,113
貸倒引当金	△35,551	△127,704
流動資産合計	25,472,287	28,372,456
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,413,916	8,690,448
減価償却累計額	△3,371,336	△3,644,768
建物及び構築物（純額）	5,042,579	5,045,679
機械装置及び運搬具	7,719,089	8,599,618
減価償却累計額	△5,280,883	△5,859,191
機械装置及び運搬具（純額）	2,438,206	2,740,427
工具、器具及び備品	937,278	1,015,390
減価償却累計額	△777,195	△858,234
工具、器具及び備品（純額）	160,082	157,155
土地	118,720	129,768
リース資産	177,008	130,314
減価償却累計額	△80,892	△55,914
リース資産（純額）	96,116	74,399
使用権資産	753,744	2,300,706
減価償却累計額	△217,275	△641,751
使用権資産（純額）	536,469	1,658,955
建設仮勘定	120,514	603,273
有形固定資産合計	8,512,689	10,409,659
無形固定資産	535,822	44,057
投資その他の資産		
投資有価証券	144,630	147,167
退職給付に係る資産	163,732	131,844
繰延税金資産	188,265	239,556
その他	116,074	163,232
投資その他の資産合計	612,702	681,801
固定資産合計	9,661,215	11,135,518
資産合計	35,133,503	39,507,974

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,396,454	2,831,554
短期借入金	2,620,705	3,018,940
1年内返済予定の長期借入金	375,236	407,636
リース債務	131,117	169,776
未払法人税等	206,741	498,384
賞与引当金	163,041	121,878
その他	807,213	815,721
流動負債合計	6,700,511	7,863,891
固定負債		
長期借入金	1,556,909	1,171,533
リース債務	534,427	510,993
長期預り保証金	117,000	114,000
退職給付に係る負債	509,426	521,722
繰延税金負債	230,163	-
その他	118,101	125,848
固定負債合計	3,066,028	2,444,097
負債合計	9,766,540	10,307,989
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,255,553	2,255,553
資本剰余金	2,988,857	2,988,857
利益剰余金	16,928,634	18,528,628
自己株式	△5,365	△5,365
株主資本合計	22,167,680	23,767,674
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,455	14,074
為替換算調整勘定	2,353,722	4,482,371
退職給付に係る調整累計額	65,715	36,001
その他の包括利益累計額合計	2,431,893	4,532,447
非支配株主持分	767,388	899,863
純資産合計	25,366,962	29,199,985
負債純資産合計	35,133,503	39,507,974

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高	20,498,367	25,288,507
売上原価	13,860,381	16,812,410
売上総利益	6,637,986	8,476,096
販売費及び一般管理費	4,790,656	5,818,620
営業利益	1,847,329	2,657,476
営業外収益		
受取利息	11,329	37,232
受取配当金	2,452	8,555
為替差益	50,334	328,154
助成金収入	68,499	4,241
その他	42,490	39,082
営業外収益合計	175,106	417,266
営業外費用		
支払利息	75,051	122,114
その他	6,059	6,046
営業外費用合計	81,111	128,161
経常利益	1,941,324	2,946,580
特別利益		
固定資産売却益	10,112	7,613
特別利益合計	10,112	7,613
特別損失		
固定資産売却損	92	213
減損損失	20,765	-
固定資産除却損	-	1,506
特別損失合計	20,857	1,720
税金等調整前当期純利益	1,930,579	2,952,474
法人税、住民税及び事業税	450,159	823,741
法人税等調整額	△134,870	△253,376
法人税等合計	315,289	570,364
当期純利益	1,615,289	2,382,109
非支配株主に帰属する当期純利益	43,069	87,417
親会社株主に帰属する当期純利益	1,572,220	2,294,691

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
当期純利益	1,615,289	2,382,109
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△57	1,618
為替換算調整勘定	2,072,918	2,202,610
退職給付に係る調整額	1,325	△29,713
その他の包括利益合計	2,074,186	2,174,514
包括利益	3,689,476	4,556,624
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	3,560,124	4,395,244
非支配株主に係る包括利益	129,351	161,379

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,255,553	2,983,084	15,703,763	△5,365	20,937,036
当期変動額					
連結子会社株式の取得による持分の増減		5,772			5,772
剰余金の配当			△347,348		△347,348
親会社株主に帰属する当期純利益			1,572,220		1,572,220
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	5,772	1,224,871	-	1,230,644
当期末残高	2,255,553	2,988,857	16,928,634	△5,365	22,167,680

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	12,512	367,086	64,390	443,989	680,917	22,061,942
当期変動額						
連結子会社株式の取得による持分の増減						5,772
剰余金の配当						△347,348
親会社株主に帰属する当期純利益						1,572,220
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△57	1,986,636	1,325	1,987,904	86,470	2,074,375
当期変動額合計	△57	1,986,636	1,325	1,987,904	86,470	3,305,020
当期末残高	12,455	2,353,722	65,715	2,431,893	767,388	25,366,962

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,255,553	2,988,857	16,928,634	△5,365	22,167,680
当期変動額					
剰余金の配当			△694,697		△694,697
親会社株主に帰属する当期純利益			2,294,691		2,294,691
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	1,599,993	-	1,599,993
当期末残高	2,255,553	2,988,857	18,528,628	△5,365	23,767,674

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	12,455	2,353,722	65,715	2,431,893	767,388	25,366,962
当期変動額						
剰余金の配当						△694,697
親会社株主に帰属する当期純利益						2,294,691
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	1,618	2,128,648	△29,713	2,100,553	132,475	2,233,028
当期変動額合計	1,618	2,128,648	△29,713	2,100,553	132,475	3,833,022
当期末残高	14,074	4,482,371	36,001	4,532,447	899,863	29,199,985

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,930,579	2,952,474
減価償却費	832,542	966,692
減損損失	20,765	-
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	20,798	86,206
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△23,306	9,145
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△14,214	31,887
受取利息及び受取配当金	△13,781	△45,788
助成金収入	△68,499	△4,241
支払利息	75,051	122,114
為替差損益 (△は益)	155,104	247,425
固定資産売却損益 (△は益)	△10,019	△7,399
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,582,917	345,108
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△124,144	△1,621,241
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,010,983	△289,424
固定資産除却損	-	1,506
未払金の増減額 (△は減少)	10,811	△152,725
その他	△50,803	△1,536
小計	2,168,948	2,640,204
利息及び配当金の受取額	14,123	56,818
利息の支払額	△74,248	△125,470
助成金の受取額	65,008	4,241
法人税等の支払額	△293,126	△716,721
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,880,706	1,859,072
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△149,866	△310,094
定期預金の払戻による収入	478,008	40,006
有形固定資産の取得による支出	△755,837	△1,626,147
有形固定資産の売却による収入	10,577	35,788
無形固定資産の取得による支出	△6,607	△19,607
その他	△8,378	4,671
投資活動によるキャッシュ・フロー	△432,104	△1,875,383

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	300,000	106,684
長期借入れによる収入	39,777	-
長期借入金の返済による支出	△452,036	△374,240
配当金の支払額	△347,348	△694,697
非支配株主への配当金の支払額	△37,107	△28,903
リース債務の返済による支出	△103,304	△108,522
その他	△73,531	△82,514
財務活動によるキャッシュ・フロー	△673,551	△1,182,193
現金及び現金同等物に係る換算差額	644,194	690,607
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,419,245	△507,896
現金及び現金同等物の期首残高	8,313,915	9,733,160
現金及び現金同等物の期末残高	9,733,160	9,225,264

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。

なお、これにより、連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社企業グループの報告セグメントは、当社企業グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものがあります。

当社企業グループは、製品・サービス別の製造販売体制を置き、取り扱う製品・サービスについて全世界を対象とした包括的な戦略を立案し、事業展開しております。

従って、当社企業グループは製造販売体制を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「工業用ミシン事業」及び「オートモーティブ事業」の2つを報告セグメントとしております。

なお、2022年4月1日付で報告セグメントの名称を「ダイカスト部品事業」から「オートモーティブ事業」へ変更しております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「工業用ミシン事業」は、主にニット衣料等の縫製に使用される環縫いミシンの製造販売をしております。「オートモーティブ事業」は、自動車用安全ベルト関連部品をはじめとするダイカスト部品の製造販売をしておりません。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業のセグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要性が乏しいため、記載を省略しております。

4 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額(注) 2
	工業用マシン 事業	オートモーティブ 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	16,482,534	4,015,833	20,498,367	—	20,498,367
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	16,482,534	4,015,833	20,498,367	—	20,498,367
セグメント利益	2,723,597	174,741	2,898,338	△1,051,008	1,847,329
セグメント資産	22,764,107	8,011,538	30,775,645	4,357,857	35,133,503
その他の項目					
減価償却費	408,602	371,584	780,187	52,354	832,542
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	402,654	352,312	754,967	7,477	762,444

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額は、全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 - (2) セグメント資産の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社資産 4,357,857千円が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない当社での余資運用資金(現金及び預金)、長期投資資金(投資有価証券)及び管理部門に係る資産であります。
 - (3) その他の項目の減価償却費調整額は、全社資産の償却額及びセグメント間消去であります。また有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、全社資産の増加額であります。
- 2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額(注) 2
	工業用マシン 事業	オートモーティブ 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	18,922,021	6,366,485	25,288,507	—	25,288,507
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	18,922,021	6,366,485	25,288,507	—	25,288,507
セグメント利益	3,268,362	558,677	3,827,040	△1,169,564	2,657,476
セグメント資産	25,963,640	10,241,453	36,205,094	3,302,879	39,507,974
その他の項目					
減価償却費	474,459	438,952	913,411	53,281	966,692
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	913,426	716,972	1,630,398	15,356	1,645,754

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額は、全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 - (2) セグメント資産の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社資産 3,302,879千円が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない当社での余資運用資金(現金及び預金)、長期投資資金(投資有価証券)及び管理部門に係る資産であります。
 - (3) その他の項目の減価償却費調整額は、全社資産の償却額及びセグメント間消去であります。また有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、全社資産の増加額であります。
- 2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)		当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	
1株当たり純資産額	991円49銭	1株当たり純資産額	1,140円65銭
1株当たり当期純利益	63円37銭	1株当たり当期純利益	92円49銭

(注) 1. 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,572,220	2,294,691
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	1,572,220	2,294,691
期中平均株式数(株)	24,810,624	24,810,624

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	25,366,962	29,199,985
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	767,388	899,863
(うち非支配株主持分)(千円)	(767,388)	(899,863)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	24,599,574	28,300,121
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数(株)	24,810,624	24,810,624

(重要な後発事象)

該当事項はありません。